

事務事業評価(事前評価)シート【令和5年度】

主管課(担当名)	社会福祉課(社会福祉担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	障がい福祉サービス事業所建設補助事業	事業番号	12184

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-07	障がい福祉の充実
	施策目標	障がい福祉サービスが充実しているまち	

2 事務事業の目的

目的	障害福祉サービス事業所の整備を促進することにより、障がい者の生活基盤の確保や、施設利用者の安全の確保を図る。
成果	施設利用者や入所者の人数の増が見込まれる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5	社会福祉法人根室明郷会が運営する、市内唯一の障がい者支援施設である根室すずらん学園園舎の施設整備(新園舎建設)に対し、施設整備費用の補助を行う。						
	R6							
		(単位:千円)	R2	R3	R4	R5	R6	総事業費
事業費と内訳	事業費				720,000	230,000	950,000	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債				314,800	230,000	544,800
		ふるさと関連基金				405,200		405,200
		その他						
	一般財源							
人員(人工)								
職員費(人員×0千円)								
総事業費				720,000	230,000	950,000		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R4)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	施設補助団体数		-	-
			-	
			-	
			-	

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	本事業所においては、老朽化した建物及び設備、居室の狭隘化、バリアフリーの未整備により、多様化する利用者ニーズに応えられない等の課題があり、本補助事業を用いて施設整備されることにより、新規利用者の増や利用者の処遇改善が見込まれ、結果として地域全体の福祉の推進や地域における障がい者に対する支援の底上げにつながる事が期待される。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 在宅障がい者の多くは、家族との同居により各種サービスを利用しながら生活しているが、親なき後の問題や同居している介護者の高齢化等により家庭での支援が困難と見込まれるケースが多く、今後、施設入所やグループホームへのニーズはますます高まるものと考えられる。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 根室市障がい者計画において、障がい福祉サービスの充実を図る観点から、施設整備が必要な法人に対し施設整備費等の支援を行うこと、また、障がい者支援施設の住環境の整備に努めることを施策目標に位置づけていることに鑑み、事業所の自主財源や各種補助制度の活用を十分に検討したうえで不足する整備費の補助について、市が実施すべきと考える。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 老朽化した建物及び設備、居室の狭隘化、バリアフリーの未整備により、多様化する利用者ニーズに応えられない等の課題を抱えており、早期の施設整備支援が必要であるとする。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 障がい者の生活基盤の確保や、施設利用者の安全の確保を図るために障害福祉サービス事業所の整備を促進することとして、整備費の補助を行うことは現状として妥当であるとする。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 根室市障がい者計画において、障がい福祉サービスの充実を図る観点から、施設整備が必要な法人に対し施設整備費等の支援を行うこと、また、障がい者支援施設の住環境の整備に努めることを施策目標に位置づけている中での実施であることから、概ね公平であるとする。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 本補助事業により、園舎の整備が促進されることから、有効性があるとする。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 計画どおり事業推進を図るとともに、障がい者の生活基盤の確保及び施設利用者の安全の確保を図るため、環境整備に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 計画どおり事業推進を図るとともに、障がい者の生活基盤の確保及び施設利用者の安全の確保を図るため、環境整備に努める。

作成年月

令和5年7月